

実務家教員一覧(2022年度以降入学生)

教員名	担当授業科目	単位数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
國松 秀美	基礎看護学援助技術Ⅰ	2	総合病院で看護師、認定看護師、看護師長として、循環器・呼吸器内科・救命救急センター・集中治療室での臨床経験がある。シミュレーションを用いたスタッフ教育を実践してきた。また、新人看護師専任師長として、新人看護師教育に携わっている。	健康障害を持つ人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、患者の気がかりを中心とした情報を解釈・分析し、科学的根拠に基づいた看護が実践できるよう教授する。
	基礎看護学援助技術Ⅱ	2		
	ヘルスアセスメント	1		
	看護過程展開の基礎	1		
	基礎看護学実習Ⅰ	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	3		
神寶 ひろみ	基礎看護学援助技術Ⅰ	2	総合病院、大学病院で循環器(CCU)で循環器外科・内科、消化器外科、救命救急病棟で看護師として、また看護科長補佐として臨床経験がある。 また、初治療では緊急アンギオカテーテル(心臓・脳外科・消化器)、消化器内視鏡検査・治療に携わり、内視鏡技師の資格を得て看護を経験した。	自身の看護実践の経験をもとに、健康障害を持つ対象に対して、「より健康に生きる」ための援助、その人の健康の状態や援助の必要性をしっかりと読み取ることが「できる、看護することの意味や喜びを看護者も感じ取れる基本姿勢を身に付けられるよう支援します。
	基礎看護学援助技術Ⅱ	2		
	基礎看護学実習Ⅰ	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	3		
瀬山 由美子	基礎看護学援助技術Ⅰ	2	総合病院で看護師として脳外科、内科、手術部、救命救急の臨床経験がある。また、内科、腎泌尿器科の診療所で内視鏡検査の看護を経験した。	疾患の重症度や発達段階にあわせた看護を提供するために必要な基本的な知識と技術の習得を支援する。命の尊厳と心の尊重を基軸として安全で安楽な看護の修得を支援する。
	基礎看護学援助技術Ⅱ	2		
	基礎看護学実習Ⅰ	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	3		
前中 夕紀	基礎看護学援助技術Ⅰ	2	看護師として、総合病院の手術室、救命救急センター等の臨床経験がある。臨床ではDMATとして活動し、現在も国際緊急援助隊として災害看護に携わっている。	臨床での実践経験をもとに、基礎的な看護の知識や技術を中心に根拠に基づいた看護が行えるよう教授する。
	基礎看護学援助技術Ⅱ	2		
	基礎看護学実習Ⅰ	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	3		
森永 聡美	基礎看護学援助技術Ⅰ	2	地域拠点病院、大学病院、特別養護老人ホーム、有床クリニックにて、形成外科、皮膚科、婦人科、整形外科、消化器外科での看護実践を経験した。臨床指導者・現任教員として、学生の実習教育・新人看護師の教育に携わった。	自身の看護実践の経験をもとに、対象者の生活を見据えた援助ができるよう、具体的事例を通じた知識・技術を伝えていきたい。 自己効力理論をベースとして、学生の主体な学習を支援したいと考えている。
	基礎看護学援助技術Ⅱ	2		
	基礎看護学実習Ⅰ	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	3		
桶河 華代	地域・在宅看護学概論	2	大学病院で、病院看護師として脳外科病棟等で臨床経験がある。また、公立保育所で、保育所看護師として、乳幼児に対する保育や健康管理に携わる。さらに、地域で生活する人々に訪問看護師として在宅看護に携わる。	地域で生活する人々に対しての看護と多職種で共同する看護の役割を教授する。すべての年齢、疾患を対象とした健康の保持・増進と健康段階に合わせた看護の提供を教授する。
	地域・在宅看護学援助論Ⅰ	1		
	地域・在宅看護学援助論Ⅱ	2		
	地域・在宅看護学援助論Ⅲ	1		
	地域・在宅看護学実習	2		
卯川 久美	成人看護学概論	1	総合病院で循環器内科、消化器内科、神経科、ICU、救急病棟、三次の救急外来などの経験がある。看護師長として循環器内科・外科病棟での管理経験をもつ。また、教育担当師長(専任)の経験をもつ。	臨床での経験をもとに成人期にある対象者の特徴、周術期における看護について教授する。また、クリティカルな状態にある対象者に、根拠に基づいた看護を提供することができるように学修支援を行う。
	成人看護学援助論Ⅰ	2		
	成人看護学援助論Ⅱ	1		
	成人看護学援助論Ⅲ	2		
	成人・老年看護学実習Ⅰ	3		
	成人・老年看護学実習Ⅱ	2		
	看護とアート実習	1		
原田 江梨子	成人看護学援助論Ⅰ	2	公立と地域医療の中核を担う総合病院での看護師としての実務経験がある。	看護師としての実務経験をいかし、手術や化学療法など、治療目的で入院した成人期以降の対象、および終末期にある成人期以降の対象に対する看護についての授業・講義や学内での演習を担当している。また、学内で授業した内容をいかした臨地実習において、学生が看護に関する知識や技術、態度を習得できるよう携わっている。
	成人看護学援助論Ⅱ	1		
	成人看護学援助論Ⅲ	2		
	成人・老年看護学実習Ⅰ	3		
	成人・老年看護学実習Ⅱ	2		
浅井 直子	成人看護学援助論Ⅰ	2	看護師として医療型障害児入所施設にて、呼吸器内科の臨床経験がある。、呼吸療法認定師として、スタッフ教育に携わってきた。	臨床での経験をもとに、呼吸ケアの知識や技術についての学習支援を促す。
	成人看護学援助論Ⅱ	1		
	成人看護学援助論Ⅲ	2		
	成人・老年看護学実習Ⅰ	3		
	成人・老年看護学実習Ⅱ	2		
小林 いずみ	成人看護学援助論Ⅰ	2	看護師として民間病院の混合内科や腎臓内科の経験がある。	患者が慢性疾患に至った経緯を把握し、治療や看護、退院後に患者のライフスタイルがスムーズに変容できる援助を自ら学ぶサポートを行う。
	成人看護学援助論Ⅱ	1		
	成人看護学援助論Ⅲ	2		
	成人・老年看護学実習Ⅰ	3		
	成人・老年看護学実習Ⅱ	2		

教員名	担当授業科目	単位数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
西村 めぐみ	老年看護学概論	2	総合病院で看護師として整形外科、泌尿器、脳外科、内科、精神科で臨床経験がある。また耳鼻咽喉科、人工透析室、手術室、救命救急センターの経験もあり、慢性期および急性期看護に携わってきた。	高齢者が加齢の影響や疾患をもちながらもその人らしく生きるための家族も含めた支援について、これまでの実務経験を踏まえ具体的事例を通して多面的に捉えられるよう教授する。
	老年看護学援助論Ⅰ	1		
	老年看護学援助論Ⅱ	1		
	成人・老年看護学実習Ⅲ	3		
鷲尾 弘枝	キャリア教育Ⅰ	1	大学附属病院、病院、診療所において助産師としての臨床経験がある。また、産科だけでなく、婦人科での臨床経験がある。さらに、病棟管理者として、臨床指導者として、看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ女性及び周産期にある母子の生理的変化、身体的・精神的・社会的な特徴と看護ケアについて教授する。また、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
	母性看護学概論	2		
	母性看護学援助論Ⅰ	1		
	母性看護学援助論Ⅱ	1		
	統合看護演習Ⅰ	1		
	母性看護学実習	2		
東尾 公子	母性看護学援助論Ⅰ	1	助産師として、総合病院の産婦人科病棟、助産師外来の臨床経験がある。	臨床での経験を踏まえ、ウェルネスの視点で周産期の対象と新生児の看護について教授する。
	母性看護学援助論Ⅱ	1		
林 資子	母性看護学援助論Ⅱ	1	助産師として、産婦人科病棟や助産師外来の臨床経験がある。また、外来・病棟副主任や臨床指導者として看護学生・助産師学生の教育・指導に携わってきた。	臨床での経験を踏まえ、妊娠・分娩・産褥期にある母子とその家族にエビデンスに基づいた判断や実践的な援助技術について教授する。
西垣 里志	看護コミュニケーション論	1	精神科病院で、看護師、認定看護師としての実務経験がある。急性期、慢性期、外来、訪問、家族などを対象とした臨床経験があり、看護学生の実習指導にも携わってきた。	精神障害をもつ人々が、病をもって生きることの生きづらさやそれを支える家族の支援について、臨床経験を踏まえ具体的事例を通して、多面的に捉えられるように教授する。
	精神看護学概論	2		
	精神看護学援助論Ⅰ	1		
	精神看護学援助論Ⅱ	1		
	精神看護学実習	2		
木村 聡子	キャリア教育Ⅰ	1	単科精神科病院，大学病院精神科病棟にて看護師としての実務経験がある。	精神疾患をもちながらもご本人が望む生活を送るために、またその生活をともにする家族を支えるための支援について教授する。また、精神科医療の歩んできた歴史や現在の状況について疑問をもち、考えられるように教授する。
	看護コミュニケーション論	1		
	精神看護学概論	2		
	精神看護学援助論Ⅰ	1		
	精神看護学援助論Ⅱ	1		
東野 和馬	看護コミュニケーション論	1	精神科病院で、看護師として精神障害をもつ人に対する看護を経験した。臨地では、精神科療養病棟と精神科スーパー救急病棟での実務経験がある。	精神障害をもつ人を多面的に捉え、対象者のストレス(強み)を活かした精神看護について教授する。
	精神看護学援助論Ⅰ	1		
	精神看護学援助論Ⅱ	1		
棕本 美帆	看護コミュニケーション論	1	総合病院で、看護師として精神科や身体科に勤務し、身体合併のある精神障害をもつ人に対する看護、脳卒中の看護を経験した。また産業看護師や保健師として、地域で生活を送る人々に対する健康管理や健康相談の実務経験がある。	身体的・精神的・社会的側面など、精神障がいをもつ人を多面的に捉え支援する精神看護について教授する。
	精神看護学援助論Ⅰ	1		
	精神看護学援助論Ⅱ	1		
単位数合計		52		